

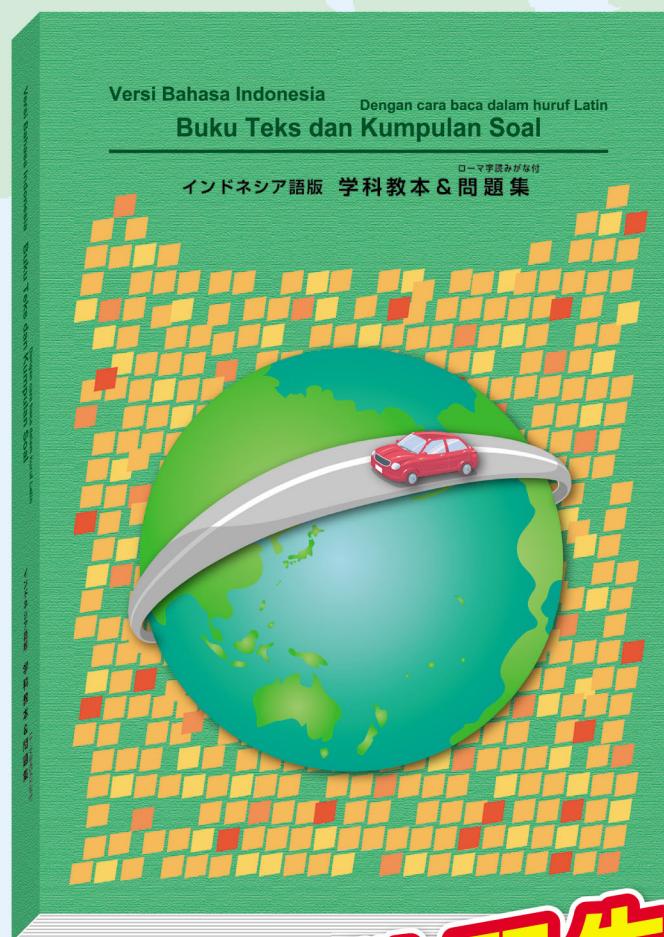
NEW

新商品

完全対訳

左ページに
日本語右ページに
外国語

業界初!! 外国語版シリーズ
インドネシア語版
学科教本&問題集



外国人教習生の
心強い味方!

※2024年11月現在 当社調べ



エイト道交法出版株式会社

TEL (011) 583-7266

FAX (011) 583-7268

e-mail : info@doro-kotu.co.jp

ご注文は1冊からOK!

詳細はこちら▶



学科教本

運転者の心得

1 くるま社会人としてのモラルと責任

車は、私たちの生活から切り離せない身近な文明の利便になっています。しかし、その反面、使い方を誤ると交通事故を起こす凶器になりました。騒音、振動などにより沿道住民に大きな被害をおよぼす原因になりました。

また、自分勝手に運行の仕方がもとで争いが生じ、人間関係を陥悪化させる場面も日常よく見受けられます。

くるま社会においては、歩行者も自転車もそれぞれの責任を自覚して、まわりの人々に迷惑をかけず、安全、快適に通行できるような交通環境をつくりあげるよう努めなければなりません。

そのためには、あらかじめ、車と交通について正しい知識をもち、正しい交通の方法を身につけておくとともに、実際の交通の場においても、自分本位ではなく相手に対する思いやりの気持ちを持って、判断し、行動することが必要です。

1 運転の3要素（認知・判断・操作）

事故のない安全な運転をするために、道路で起きた様々な状況の変化をすぐ認識し、その状況に最も適した判断をし、冷静沈着に車を操作することが最も重要なことです。

車の運転は、常に認知、判断、操作の繰り返しであり、どれか一つでも誤ると悲惨な結果を招くことがあります。

身に付いた安全運転とは、道路や交通の状況について細心の注意を払い、冷静な判断の上に車を操作することが習慣化されていることをいいます。常に集中力をもって運転し、少しの気のゆきが思わず大事故につながるということを決して忘れてはいけません。



2 運転者の責任

道路を行なうときは、決められた交通規則を守ることはもちろん、それで個々に細かい配慮をしなければなりません。他の人々が安全に通行できる社会的責任もあります。

❶ ゆずり合いと思いやり

道路は、みんなが使用するものです。まわりの歩行者や運転者の立場を尊重し、お互いにゆずり合った気持ちを持つことが大切です。自分本位ではなく相手の立場に立ち、思いやりの気持ちを持って、行動することが必要です。

また、交通事故や故障で困っている人を見かけたら、連絡や救援をすると、お互いに協力し合いましょう。

日本語と外国語が
完全対訳

❷ 他人に迷惑をかけない運転

自分の運行の利便だけを考えるのではなく、まわりの人々に迷惑をかけたり、沿道で生活している人々に対して、不愉快な騒音などの迷惑をかけないように配慮しましょう。また、道路に物を投げ捨てたり、勝手に物を置いたり、その他まわりの人の通行の妨害や迷惑になることをしてはいけません。

問題集

1 (P:Lihat halaman buku teks)

2 (P:Lihat halaman buku teks)

Soal Ujian Teori SIM Sementara

仮免問題

Soal Ujian Teori SIM Sementara